

くらサポ ニュース ^{NO.} 113

事 例 紹 介



2024/3/1

ひな人形(7段)を飾る依頼があり、2人のサポーターさんが思い出話に花を咲かせながらお手伝い!



この季節ならではの依頼ですね。

(蕨市 70代)

地域包括支援センターから、妻がデイケアに通っている間、夫の見守り・話し相手をしてほしいと依頼がありました。

以前、調理のお手伝いでくらサポを利用したことがあり、同じサポーターさんをお願いしたいとのこと。今は、調理のお手伝いも併せて行っています。(川越市 90代)



産後のお手伝いをしてほしいと、若い夫婦から依頼がありました。

利用者さんとサポーターさん宅の距離があったため、サポーターさんの自宅でお料理を作り、コーディネーターがそのお料理を届けて支援を行いました。また、掃除や洗濯、子育てのアドバイスなどもサポートしました。「お料理が生きがい」のサポーターさんと、コーディネーターの協力で実現したサポート。利用者さんに喜んでもらうことが出来ました。

(富士見市)



くらしサポーター交流会

(戸塚地域)

2月15日(木)ふれあい戸塚槐にて開催しました。骨密度チェック、結果説明とミニレクチャー後に交流会を行いました。サポート経験者の事例紹介、感謝されたことや困ったことなど、活動の悩みなどを意見交換しました。参加者からは「たくさん学べ、参加してよかった」「またやりたいね」という声が聞かれました。



♪ コーディネーター リレートーク(第14回)

飯能市

岩村 いづみさん



コーディネーターを引き継いでから2年6か月になります。定期的に掃除や買物代行等、組合員さんの困りごとをサポートさんに手伝っていただき、活動が進んでいます。

ケアセンターや地域包括支援センターからの依頼で未組合員の方は、加入をお願いし、支部の仲間増やしにつながっています。くらしサポーターが広がると良いと思います。

くらしサポーターは、感染防止を徹底したうえで、活動します。事前の体調確認、マスク着用、手洗い、消毒など感染予防の基本を励行します。



医療生協さいたま

地域福祉相談支援センター/くらしサポーター事務局

直通電話 048-296-8692